

十四代
今泉今右衛門 略歴



- 一九六二年(昭和三十七年) 佐賀県有田町に生まれる
- 一九八五年(昭和六十年) 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科(金工専攻)卒業
福岡ニック入社
- 一九八八年(昭和六十二年) 京都・鈴木治先生に師事
- 一九九〇年(平成二年) 有田・父・十三代今右衛門の許、家業に従事
- 一九九五年(平成七年) 九州陶芸八人の会展出品
- 一九九六年(平成八年) 日本伝統工芸展入選(一〇一九)
- 一九九七年(平成九年) 佐賀県美術展知事賞受賞
- 一九九八年(平成十年) 日本伝統工芸展入選(一〇一九)
- 一九九八年(平成十年) 出水会陶芸部展 一水会賞受賞(一九九六、一九九八)
勸今右衛門古陶磁美術館の学芸員に就任
- 一九九七年(平成九年) 日本陶芸展入選(一〇一九)
- 一九九八年(平成十年) 出石磁器トリエンナーレ受賞
西部工芸展 KKB鹿児島放送局賞受賞
- 一九九八年(平成十年) 日本伝統工芸展 工芸会会長賞受賞 正会員に推挙される
佐賀銀行文化財団 新人賞受賞
佐賀新聞文化賞奨励賞受賞
- 二〇〇一年(平成十三年) クレイワークス二人展出品
- 二〇〇二年(平成十四年) 十四代今泉今右衛門を襲名
色鍋島今右衛門技術保存会会長となる
勸今右衛門古陶磁美術館の館長に就任
一水会陶芸部展 会員優賞受賞
- 二〇〇三年(平成十五年) 現代陶芸の華 招待出品(茨城県陶芸美術館)
- 二〇〇四年(平成十六年) 日本伝統工芸展 東京都知事賞受賞
- 二〇〇七年(平成十九年) 日本伝統工芸展 鑑査委員に推挙される
- 二〇〇八年(平成二十年) 西日本陶芸美術展優秀賞受賞
MOA岡田茂吉賞 工芸部門優秀賞受賞
第二回智美術館大賞 現代の茶陶 招待出品
- 二〇〇九年(平成二十一年) 紫綬褒章受賞
- 二〇一〇年(平成二十二年) 第一回金沢・世界工芸トリエンナーレ 招待出品
日本工芸会 理事に推挙される
- 二〇一一年(平成二十三年) 日伊芸術交流祭ラ・ルーチエ展招待出品(イタリア)
- 二〇一二年(平成二十四年) 日本工芸会 西部支部の幹事長に推挙される
- 二〇一四年(平成二十六年) 日本陶磁協会賞を受賞
有田陶芸協会会長に就任
- 二〇一七年(平成二十九年) 重要無形文化財「色絵磁器」の保持者(人間国宝)に認定
仏、バカラ社との共同制作「Baccarat meets MAEMON」を発表
「今右衛門の色鍋島」展(朝日新聞社等主催)を開催(一〇一八)
- 二〇一八年(平成三十年) 奈良・薬師寺 食堂 落慶に際し三具足を奉納する
佐賀県陶芸協会会長に就任
- 二〇二〇年(令和二年) 日本工芸会 副理事長に推挙される